

宗岡第二小学校だより

令和6年5月号



学校教育目標

よく考える子 やさしい子 たくましい子 N02

校長 阿部 剛

夢を育み保護者、地域の期待に応える学校をめざして

1 順調にスタートしました。

新緑があざやかな季節となりました。班長さんが1年生の歩くスピードを確認しながら登校しており、上級生としての意識の高まりを感じます。登校時のあいさつ、校庭では元気いっぱい遊ぶ子供たちの姿が印象的です。1年生が困っていると6年生がやさしく声をかけ、学校生活のサポートをしています。

○1年生を迎える会では、短い時間でしたが、上級生が中心となりながらも和やかな雰囲気でお祝いの言葉を添えながら全校児童でレクレーションを行い、楽しい時間を過ごしました。

○宗岡二小では、今年度もPTA主催でのお米作り自然体験学習が始まりました。地域の方々や保護者の方々のご準備があって実現できる体験活動です。子供たちのために長年にわたるご協力に感謝申し上げます。

○離任式では、3月までお世話になった先生方へ感謝の気持ちをお伝えするためにメッセージを作成しお渡ししました。去られた先生方からも子供たちへの温かな言葉や励ましをいただきました。また宗岡中学校に異動された先生からも、卒業生の頑張りを聞くことができました。

○教室訪問を通して新しいクラスに慣れてきた子供たちが多いと感じています。年度の初めは、環境の変化、体調面でバランスを崩しやすい時期です。お子様の体調がすぐれないときは、ご家庭にすみやかに連絡をいたしますのでよろしくお願い致します。5月には保護者の方と担任による個人面談を実施いたしますのでご協力をお願いします。

2 「初心忘るべからず」

清掃の時間、子どもたちの清掃への取り組みに感心しています。学生時代に行った観光バスの清掃の仕事を思い出します。バス1台を個人で担当し清掃を行います。車内の忘れ物の確認を行い、座席シートをほうきで、はき、室内のごみを集め、床をモップで水拭きします。窓ガラスやタイヤも清掃します。清掃には45分位かかりました。担当の方からは、「少し時間をかけてもかまいませんから、ていねいに行ってください」と言われました。数日後には、仕事の手順もわかり、だんだん仕事に慣れてきました。しかし担当の人から清掃後お話をいただくことになりました。自分では、きれいに清掃したつもりでしたが床を水拭きした時には、全く気づきませんでした。乾いた土が床に白く残っていました。「床の汚れがある時は複数回、ていねいに水拭きしてください。椅子の下など見えないところの作業もていねいに行ってください」と注意を受けました。振り返ってみますと、少しずつ仕事に慣れ、ていねいに取り組む気持ちや姿勢がだんだん足りなくなることが原因だと思います。「初心忘るべからず」を大切にしたいものです。